



SSKP つくしんぼの
会報誌
つくつく通信
No.84

「つくしんぼ」はハンディのある子どもたちの放課後活動のスペースです

NPO法人はらっぱ「フリースペースつくしんぼ」 東京都町田市小川1511 TEL/FAX 042(796)8468

つくしんぼの話じゃなくて スミマセン……

新年度です。つくしんぼの活動も、これで13年目になります。

代表である私(山下)が、つくしんぼを開設したとき、長男のヒロキはまだ幼稚園の年長でした。それが、今年はいよいよ高校3年です。で、来年は卒業。

生きていてくれたら、ですけど……。

3月28日、ヒロキの三回忌を行ないました。早いです。あの事故から、もう2年の月日が経ってしまいました。私は、結構精神的にしんどかったけど、仲間のみんなにささえられ、なんとかつくしんぼを続けてくることができました。

この4月7日に、ヒロキとの生活を綴った書籍を出版して頂くことができました。『あさんぽいってもいいよあ～－自閉症児ヒロキと歩んだ15年－』というタイトルの本です。

ヒロキが生れて、自閉症とわかって、ずいぶん悩み、公民館の障がい者青年学級のスタッフとなり、脚本家という仕事を辞めてつくしんぼをはじめ……そんなヒロキとの二人三脚のような15年を振り返り、エッセイ風にまとめてみました。

縁あって、つくつく通信を読んでくだ

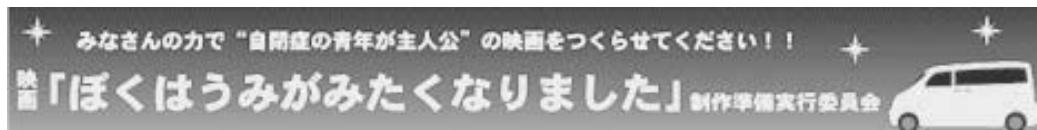
さっているみなさまにも、できることならこの本を読んで頂けたら、と思っています。もっとも、そのためには買って頂かなければならぬのですけど……。(^^;

本屋サンでは見つからないかな、と思います。町田市内の久美堂さんにはお願いして置いて貰あうとは思っていますが……。

ネット購入の方が確実です。つくしんぼ



ぶどう社刊 定価1365円



アドレスは <http://homepage2.nifty.com/bokuumi/> です

ぼくうみ 増刷

のホームページからも購入できるようにしてあります。また、つくしんぼに常に在庫するようにしていますので、直接購入にいらして頂くことも可能です。

印税はすべて映画「ぼくはうみがみたくなりました」製作費にまわしてしまうつもりでいます。

で、その「ぼくうみ映画」の進行状況なのですぐ……。

3月末に、文化庁から助成決定の通知を受けました。ちなみに、私の携帯に連絡が入ったのは、ヒロキの三回忌の法事の真っ最中でした。(^o^)

現在はキャストのオーディションの真っ最中。5月には配役が決定し、梅雨明けの7月あたりには、いよいよクランクインの予定です。

予算は、実はまだ1400万円ほど不足しています。でも、これはもう、撮りながらあちこちの企業に支援をお願いしていくし

かないかなと思っています。

次号のつくつく通信を発行する頃には、撮影が完了しているはずなのですが、はたして予定通りスケジュールが進んでくれるか? 梅雨空との格闘になりそうな感じですが、でもヒロキが真っ青な晴天をしっかり運んできてくれるような。(^o^)v

撮影期間中は、つくしんぼの活動は若い職員たちにお任せになります。でも、大丈夫。このとこ、私の役目は雑用ばっか。いてもいなくても大して変わりません。怒ってばかりいる私なんか、いない方が子どもたちもノビノビできるのでは???

行事紹介ばかりのワンパターン記事じゃつまらない、というリクエストにお応えして、久しぶりに個人的な内容を書かせて貰いました。

ほとんど営業みたいになってしまってスミマセン。でも、ほんと、本 買って頂けたら嬉しいです。(^^;

サークスを観てきました

4月1日、つくしんぼ親子遠足で木下大サークスに行ってきました。

子どもたちがサークスに興味を持つてくれるのだろうか? 少し不安だったのですが……ショーガ始まるごとに、人間技とは思えないacroバティックな演技や、普段は動物園でしか見ることのできないゾウや猛獣たちの芸を、みんな目を丸くして見ていました。

最後の空中ブランコでは、ピエロのあもしろおかしい動きにわが息子も大興奮。『ピエロさーん!』と絶叫しながら手を

振っていました。

中には飽きてしまい途中で外に出でてしまった子どももいましたが……。(^_~;)

親子で楽しい一日を過ごすことができました。

チケットをくださった木下大サークス立川公演事務局さま、東京善友銀行さま、ありがとうございました。





今回のキッズタイムは ハヤトくんです お母さんに聞きました

ハヤトは、小学校の特別支援学級に通っている3年生の男の子です。つくしんぼには、同じ学級に通っている6年生のお兄ちゃんと一緒にお世話になっています。

つくしんぼにはじめて遊びに来たのは、お兄ちゃんが1年生のときでした。ハヤトはまだ3歳でした。その頃はまだ赤ちゃんと同じような感じでしたが、今ではすっかり偉そうにしていて、職員さんたちにいはっています。(すみません…)

最近のハヤトは、ブランコが大好きです。つくしんぼに来ると、一番最初に小さいブランコに乘ります。

こぎながら「フー」だの「ヒー」だのの声(音?)を発しています。どうも、大好きな電車の音を真似しているようですが、定かではありません。

ブランコをこいでいるときのハヤトは、自分の世界に入っていて、誰も寄せつけない雰囲気があります。

新しい環境に慣れるのに時間がかかるハヤトにとって、つくしんぼは、ありのままの自分を出せる貴重な場所になっています。泣いたり、怒ったり、そして元気にニコニコと笑ったり……。

これからも、つくしんぼで楽しい毎日を送って欲しいと思います。



も笑顔でいることを心がけ、私自身も楽しんでいます。

ときには無茶な要望をしてきますが、それに応えるために一生懸命になっています。

もしかしたら遊ばれているのかな、と時々思うこともありますが、充実した時間を過ごしています。

子どもたちの日々の成長には驚かされています。出来なかったことが出来るようになると、私自身も嬉しく思います。

これからも子どもたちの成長を見守りつつ、自分自身もスキルアップしていきたいと思います。



大学2年の夏頃からつくしんぼでお世話になっています。

大学で社会福祉を専攻していて、将来のために、という理由からボランティア先を探し、ここにきました。

幸い、自宅からも近いということもあり、今まで続けています。

子どもたちはとても敏感なので、いつ





つくつく通信の裏表紙



本来、表紙用と思っていた記事なのですが、勝手ながら裏ページに持つてこさせて頂きました。m(_ _)m



さあ新年度! といつても、つくしんぽの活動は3月~4月とつながっているので、とりわけ新しい年度という雰囲気はありません。新たに1年生が入会の予定ですが、小学校がまだ始まっていることもあります。参加はこれからです。

「東京都通所デイグループ事業」が「障害者施設包括事業」内の事業に移行され、行く末が不安なのですが、とりあえず今年度の補助金額は現状維持で済みました。ゆえに、つくしんぽの活動も現状維持ということです……。

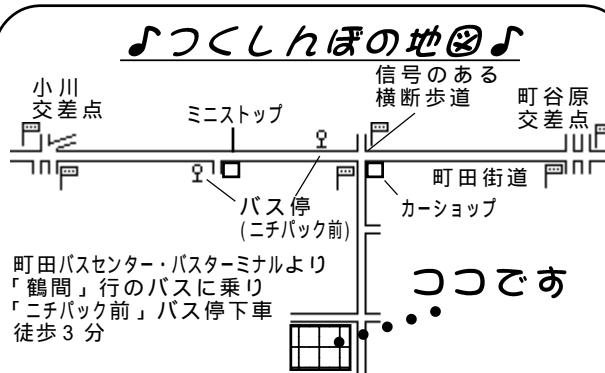
3月末に「平成20年度障害児居場所づくり事業運営法人募集説明会」という会に特別に参加させてもらいました。

といつても、これ、東京都の話ではなく、お隣の横浜市の話なのでして……。

横浜市の中期計画の中に、「子ども未来戦略」という施策があり、障害児のための余暇活動の場所を新たに創設すること。平成22年度末までに、各区に概ね1カ所ずつ、合計21カ所を実施するというのです。

放課後事業を、移行先の見当たらない自立支援法内の施設に無理やり移行させようとしている東京都と比べ、横浜市の考え方はなんと素晴らしいこと!

来年以降の動向は、またしても未定。毎年、こんな感じの繰り返し。少しずつでもいいから、いい方向に進んで欲しいものです。



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分弱です

▲ささえる会 ご入会・ご更新ありがとうございました
桜井様、三箇山様、石川様、山下様、山本様、行田様、山上様、三好様、阿南様、高尾様、曾輪様

(1月~3月)

つくしんぽをささえる会 ご入会・ご更新のお願い

フリースペースつくしんぽはハンディをもつ子どもたちの放課後活動施設です。

1996年に開所。1998年度からは東京都と町田市から通所デイグループ事業としての補助金を受けてはいるものの、運営面で苦しいのが現状です。

よろしかったら「ささえる会」の会員になってください。年会費2000円(一口)でお願いしております。

会員の皆様には、この会報誌「つくつく通信」を送付させて頂きます。よろしくお願ひできましたら幸いです。

郵便振替口座番号

00120-7-168283

加入者口座名称

フリースペースつくしんぽ